

2015年6月 第397号

2015年
6月号

スズキ労連労働組合連合会
静岡県浜松市南区増楽町20
電話(053)447-3079 FAX(053)440-2838
発行人 根木一暢
編集人 金子孝枝

スズキ労連

第43期 ヤングリーダー研修会を開催しました



スズキ労連43期・44期のヤングリーダーのみなさん

2015年5月15日(金)～16日(土)の2日間にわたり、静岡県掛川市のつま恋にて『第43期ヤングリーダー研修会』を開催しました。この研修会は、次世代を担う若い組合員の人材育成を目的として毎年開催しており、今回は、お互いに協力する事、他人を認め合う心を育成し、人と人との信頼関係の構築に焦点を絞ったプログラムで行いました。

A
チーム

声掛け 楽しむ 思いやり

タナケン・あおちゃん・やまさん・はじめ・はやみん
かおりん・くどうちゃん・あきびー・かき・まつん
ゆう・まっすー・かず

B
チーム

**☆声を出す!→楽しむ ☆リーダーを支える!!
☆積極的にとりあえずやってみる!!**

ヨッシー・さわわ・たっちゃん・イシちゃん・けんじ・たか
ありちゃん・カズ・いむ・りんちゃん・みかこ・タモさん・ヌルモト

C
チーム

**考えを共有する！役割を決める！
ルールを作る！**

しお・たまりん・だいり・サコちゃん・けん・つる
ひげゆう・たくちゃん・にわっしー・わた・かな・すみす

D
チーム

**明るく楽しく元気よく 本気あきらめない
人はみんなの為に みんなは一人の為に**

けん・しみちゃん・なっちゃん・たか・ツヨシ・ナベ
ばん・あや・うま・オカちゃん・にっキー

チーム目標を 立てました

座学より
コミュニケーションが
とれるのでよかつた!
チームワークは大事

みんな意外と
真剣…

楽しさを忘れたら
何もできない…

チームが協力すると
今まで以上の
成果が達成できる



チーム全員が手をつなぎ、輪を通していきます。目標タイムを決め、どうしたら早くできるかみんなで考え→実践



ここは川底から100メートル上に架かる丸太の橋の上
名前のあいうえお順に並べという指令 落ちたら大変



みんな笑顔



各自が半円柱の筒を持って次々につなげ合わせ、
宝石に見立てたビー玉をゴールまで運びます。コースアウト続出

輝き世代の
50名が参加

自然に囲まれた最高の環境で チームビルディングプログラムを体験



早く早く…



声を掛け、手を貸し、慎重に慎重に入れ替わります



チームがシーソーの上で輪になり、バランスを取りながら一周します。
シーソーが地面についたらもう一回!成功率低いです。



今回の研修はスズキ労連加盟組合より女性15名、男性35名が「チームビルディングプログラム」を体験しました。研修は、座学ではなく野外で体を使ったゲーム形式で行い目標達成に向け問題点・改善点など意見を出し合いながら進めて行きました。みんなが意見を出しやすい雰囲気づくりをする事でチーム全員が気付いた事を出し合い早期に問題点を把握し、改善策を立て成果に結び付けていく事を体感しました。

ほとんどの参加者が初対面だったにも関わらず研修中は、お互いをニックネームで呼び合うなど、和やかな雰囲気で進み終始笑顔あふれる研修でした。

2日間を通じコミュニケーションの大切さを体験し、スズキグループで働く組合員同士の交流が図れた研修会となりました。

自動車総連・スズキ労連 2015年福祉カンパのお願い

実施期間:7月1日(水)~7月18日(土)

※組合役員がカンパ袋を持って職場を回りますのでご協力よろしくお願いします。

スズキ労連では、毎年夏季の一時金支給時期に「福祉カンパ活動」を展開しています。自動車総連と連携した活動で、「社会を担う労働組合が社会的責任の一翼を担うためハンディキャップを負っている人たちへの支援として、さらには国全体としての福祉政策の充実を訴求していこう」との考えに立ち活動を進めております。このカンパ金をもとに社会福祉施設・団体への物品及び車両寄贈、国際福祉活動・国内ボランティア活動を進めている福祉団体への支援、ハンディキャップを持った人たちとのスポーツを通じたふれあい行動等、様々な分野で活動を進めています。昨年の福祉カンパでは皆様のご協力により、スズキ労連で5,661,479円、自動車総連全体で153,924,110円が集まりました。今年も昨年同様、皆さんのが理解とご協力をよろしくお願いします。

自動車総連:福祉カンパ金の使途

組合員の皆様から頂いたカンパ金は主に下記の活動に拠出されます。

- 社会福祉施設・団体等への車両および物品寄贈
- 「ナイスハートふれあいのスポーツ広場」の開催
- 「連合・愛のカンパ」への拠出



スズキ労連2014年 車両寄贈実績

- 静岡県浜松市
社会福祉法人 恵会「恵学園」: キャリイ
- 静岡県浜松市
社会福祉法人引佐すみれの会「引佐草の根作業所」: ソリオ
- 鳥取県鳥取市
特定非営利法人「このゆびと一まれ」: ワゴンR
- 熊本県熊本市
社会福祉法人アバンセ「カサ・チコ」: エブリイ



※寄贈先はスズキ労連加盟単組より推薦を受け決定しております。

2014年:社会福祉法人“恵会”に キャリイ寄贈(浜松市)

募集中

私の提言

第12回
教育文化協会

「働くことを軸とする安心社会」
の実現にむけて

募集

応募締切 2015年8月17日(月)必着

表 彰	優秀賞 表彰盾と副賞 20万円
	佳作賞 表彰盾と副賞 10万円
	奨励賞 表彰盾と副賞 3万円
☆応募者には、もれなく記念品を進呈 (除く、入賞者)	

募集内容

連合が提起している「働くことを軸とする安心社会」の実現につながる具体的な提言をお寄せください。
(オリジナルで未発表のものに限る)

応募資格

どなたでも応募できます。

応募方法

電子媒体(E-mailなど)による応募

応募先・問い合わせ先

公益社団法人 教育文化協会

電話 03-5295-5421

E-mail info-iiec@ebu.jtuc-rengo.or.jp

詳しくは [教育文化協会 私の提言](#) を参照

働くものの祭典 第86回メーデー中央大会

スローガン

みんなの安心のため
さらなる一歩を踏み出そう!

4月29日(水)、東京・代々木公園にて連合第86回メーデー中央大会が開催され、私たちの働く仲間約4万人が集いました。中央式典、結集デモ行進のほか、今年は戦後70年にあたり今後も平和運動を推進していくとの決意を込めたイベントや、阪神・淡路大震災や東日本大震災を風化させないための写真展など、各種メーデーイベントが実施されました。

天気は快晴!スローガンは“さらなる一歩を踏み出すため、がんばろう!”です。



スズキ労連からは9名が参加

みんなでアクション! 夏のピークカット

ピークカットアクション 21

省エネにつながる 21 のワザ

連合が提案する 21 個の節電アイデア「ピークカットアクション 21」にみんなで取り組み、省エネにつとめるとともに、生活習慣の見直しにつなげていきましょう!

エアコン

- 温度設定を控えめにする(強にしない)。
- 扇風機で空気を循環させ、効率的にエアコンを使用する。
- 使用時に扉やカーテン・ブラインドを閉める。
- フィルターをこまめに掃除する。

照明

- 電球の間引き、照度の調整をする。
- 器具のこまめな掃除で明るさをアップする。

冷蔵庫

- 温度設定を控えめにする(強にしない)。
- 開いている時間を短くし、余分な開閉はしない。
- 物を詰め込みすぎないようにする。
- 熱いものは冷ましてから入れる。

テレビ

- 画面のこまめな掃除で明るさをアップする。
 - 音量は必要に大きくしない。
 - ビデオ・DVD やゲーム機器のつけっぱなしに注意する。
- その他
- 温水洗浄便座の温水・便座の温度設定を控えめにし、使わないときは保温便座のふたを閉める。
 - 電気衣類乾燥機は極力使用しない。

電化製品共通

- スイッチをこまめに切る。
- 省エネ効果の高い製品への買い換えや、省エネモードやタイマー機能の活用をする。
- 季節によって必要な機器や、使用頻度の低い機器はコンセントを抜くまたは主電源を切る。
- スイッチ付きテーブルタップの活用で、待機電力の削減を心がける。

生活行動の工夫

- 家庭において特にピークカットが求められる時間帯(13:00～16:00)の電力使用を極力抑える。
※地域の電力事情をご確認ください。
- 家族が同じ部屋で過ごし、消費電力を抑える。

みんなでアクション!
夏のピークカット!!

夏は、特にエアコンと一緒に冷蔵庫に注意じや!



夏期版

2014 連合エコライフ21

つながろう
NIPPON 連合

URL <http://www.renko.org/>
エコライフ21 検索



[スズキ労連] 機関誌に対するご意見・ご要望がございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838
e-mail : kaneko@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇

<http://saw.gogo.tc/>

*スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関紙
共通パスワード… saw2007

【編集後記】

表紙に掲載のヤングリーダー研修において、ヤングの仲間入りができず非常に残念な思いの事務局メンバーは、当日は参加者同様、胸にニックネームを貼つても準備万端で待機していたものの、研修が始まると途中参戦できないくらいにチームの力は結束していました。ひとチーム11～13人のメンバーの中から自然にリーダー的存在が生まれ、役割分担が出来上がっていました。互いに意見し、受け入れ、問題を解決していく流れは見事でした。気を良くした事務局も来年のヤングリーダー研修は無人島にでも渡ってみようかなと作戦会議です。この研修で得た力を効率よく変換せねば… 参加されたみなさんお疲れ様でした。 かねごん



意見交換会の様子 手前はマツダ労連・労組の役員のみなさん